

箕輪町 議会だより

みんなのぎかい

Minowa Town Assembly News

第91号
2025.2.1

特集

15歳の目

～私たちが感じていること～

中学生模擬議会

P2～5

CONTENTS

- 12月定例会で決まったこと P6
- 審査のなかみ P7・8
- 町政のここが聞きたい！
一般質問 P9～16
- 活動日誌 P17
- 行政視察 P18・19
- 自治のチカラ P20



議会ホームページ

▶ 一般質問の様子を動画で！

各議員の二次元コードを読み取ると動画を視聴できます。

15歳の目

～私たちが感じていること～

中学生模擬議会

次世代を担う中学生による模擬議会を11月15日に開催しました。町に対する意見を聴き、その声を町政に反映させたり、興味をもってもらうことも目的です。今年度は、箕輪学のテーマに沿ったチーム編成で質問を作成し、3学年全員が議場を体験できるよう取り組みました。

※模擬議会の様子は、こちらのYouTubeでご覧いただけます（2025.2月末まで）

youtube 箕輪町中学生模擬議会



楽しくみんなで町をきれいにする、ごみ拾いのイベント化と道路の整備を



沖田 さん

議員 小学生とゴミを拾う「清掃中」というイベントを行い、ゲーム感覚にすることで楽しみながら町をきれいにできた。役場の周りだけで約3kgのゴミがあった。道が狭い、歩道がなくて危ない、水路が草で覆われていることなどに気付いた。ゲーム感覚のゴミ拾いや危険箇所の発見をイベント化し、町でも開催を。

町長 皆さんが実施したイベントを広めていくことは重要。町制70周年記念事業の中で「清掃中」というイベントを行うのもいい。将来にわたっての継続も大事。修繕が必要な場所をみんなで見つけるのはいいアイデア。

トップバッターの質問で緊張したと思います。自分で感じたことも入れながら提案したことがよかったです。



白鳥

世代間交流イベントで町を元気に

議員 たくさんのつながりをつくることを目標に交流会を企画・実施し、誰もが楽しく安心して交流できることの大切さを知った。みのわBASEを活用した「あやとり」や「こま」などの伝承遊びやスタンプラリーなど、年齢関係なく交流できるイベントの開催を。

町長 これまでに防災イベントやみのわBASE縁日などを行っている。町内には伝承遊びなどで世代間交流をすすめている団体がある。団体やみのわBASE委託事業者へ企画を依頼して行うなど、季節に合ったイベントも検討していく。



春日 さん
中村 さん(サポート)

今回質問した案件が、自身が年齢を重ねるにつれて捉え方がどう変わるか自分自身で変遷を検証してみてもどうか。



金澤

空き家について、もっとわかりやすく情報発信を



仙石さん
山中 さん(サポート)

議員 空き家のリノベーション活動をきっかけに、町の空き家が増え続けていることを知った。売りたい人や買いたい人に情報が届くように、町のホームページに「空き家」のバナーを設置したり、CMを流したり、高齢者施設にチラシを置いたりしてはどうか。

町長 現在の空き家戸数は304戸。空き家バンクや、改修などのための補助金制度で対策している。移住促進サイトなどで情報を発信しているが、より多くの媒体を使って情報提供していく。

やわらかあたまの発想に感心しました。情報が届いて、空き家の流通が進むといいですね。



山口

箕輪学の課題を基にアイデアを出し合い、次々と具体化される施策に感動し、私自身も勉強になりました。



岡田

中学校の防災倉庫にもっと備蓄を増やして



中林 さん

議員 ①災害発生時に、大勢が避難する中学校。防災倉庫にもっと備蓄を増やしてはどうか。②避難所にペットと同伴できる環境を。③外国の方でも読めるハザードマップを。

町長 基本は「自助」、自宅で備蓄を。避難所33カ所。面積、受け入れ人数を計算して食料品などをいくつかの避難所に備蓄している。中学校の備蓄は十分とはいえないので見直す。ペットについてはアレルギー問題等があり原則的に避難所の居室は禁止している。ルールについて改めて考えたい。ハザードマップは現在更新のタイミングなのでさっそく検討する。

町の防災対策について町民の立場に立ち、災害発生時における具体的な質問を考えられていて素晴らしいと思う。



北野

町にストリートピアノの設置を

議員 箕輪学合唱団として各地で歌い、普段関わりのない人たちと歌でひとつになれたような気がした。みのわBASEや公園など、自由に楽器を弾き歌える場所と、保育園や企業、もみじ湖イベントなど、歌で交流できる場がもっとほしい。そして「音楽にあふれた町」にしたい。

町長 発想として非常にいいし、共感する。町にあるスタインウェイなどのグランドピアノの移動は難しいが、アップライトピアノは、文化センターのエントランスホールに置いてみたい。提案の屋外や施設については検討する。歌う機会については、どんどん町へ相談して。



足助 さん
菅野 さん(サポート)

堂々とした姿勢の素晴らしい質問でした。「音楽」をキーにしたまちづくりの提案を一緒に実現しましょう。



中野

みのわBASEにこれが必要と思うベスト4



上島 さん
有賀 さん(サポート)

議員 大人も子供も楽しめる遊び場について学習。おもちゃを手作りし園児と交流した。もっと様々な人と交流するために提案する。①囲碁・将棋等、年齢問わず頭を使って交流できるもの②部活終わりに快適に過ごすためのシャワー・ロッカールーム③楽器を使うことができる防音室④バスケットゴール。センターパークなどの屋外で、幅広い年代が気軽に体を動かすため。

町長 ①既に貸し出しているので利用を。②災害時のためのスペース確保を優先し、入浴設備等設置の考えはない。③防音室設置は議論したが、かなわなかった。④バスケットゴールは適地があれば検討したい。

質問者の上島さんには敬意を表します。授業でも伝えさせていただいた通りプロセスこそすべてです。



上田

ふるさとCM大賞応募をきっかけに知った箕輪町のよさ、もっとPRしたい

議員 箕輪町を知って、来て、楽しんでもらうために、①センターパークのイルミネーション規模を大きく②もみじ湖や赤そばの里などの観光資源で新たなイベントと、トイレや駐車場の整備を③SNSを使ってリアルタイムな発信を。

町長 ①イルミネーションでの中心部活性化、再考したい。②トイレや駐車場は十分とは言えない。多くの方に訪れてもらうためには整備必要。イベントは町民向けに開催したい。③SNSの素材をどうするか、PR方法を検討したい。

議員・再質問 センターパークイルミネーションの今後について、町の考えはあるのか。

町長 TMOでの実施は難しい。龍は、残していく応援をする。夜のまちづくりは検討。

再質問できた勇気に拍手！原稿にない即興の質問は、議員でも難しいこと。



下村 さん
今井 さん(サポート)

ふるさとCM大賞応募をきっかけに町のPRを提案する質問でした。具体的な質問ができていた。



小出嶋

箕輪町を花いっぱい



平澤 さん

議員 阪神大震災「はるかのひまわり」と、ウクライナのヒマワリを栽培する活動を通じて、①休耕田を提供できないか。②ハウキモロコシを使ったイベント開催を。③園児や小学生と一緒に花づくりの応援と土地の確保を。④JR・国道沿線や河川敷で花まつりを企画、町民自主活動のバックアップを。

町長 ①観光地近辺で栽培してもらえると有難い、ぜひ活用して。②皆さんが栽培し、伝統工芸を繋いでくれることを期待する。③素晴らしい取り組み、小学校や保育園に広げてほしい。④既に町内にある花に関する取り組みの輪を広げていけるよう、これからも頑張る。

教育長 中学生が発信元となって、地域の皆さんを巻き込んでほしい。校内花壇も活用して。

箕輪中の「花いっぱい」活動と、町の皆さんの取り組みが融合し、花の輪がさらに広がっていきますように。



花づくりもハウキづくりも主張はできた。自分たちでもできることから行動してくればなおよい。



積極的なジェンダー教育と、パートナーシップ制度への町の対応は

議員 ジェンダー平等についての学習を進めるなかで、当事者のお話を聞くことで理解が深まった。小中学校で、ジェンダーについての授業を積極的に取り入れては。また、町ではパートナーシップ制度について目立った動きが見られないが、どのように検討しているか。

教育長 来年度の中学校の教科書には、性教育でLGBTQが取り上げられる。小学校でも副読本に記載されている。日頃の生活でも性の多様性を意識することが大事。ぜひ皆さんから発信を。

町長 長野県には、昨年8月からパートナーシップ制度があり、県に届出をすると町のサービスにも使える。制度の内容と、性の多様性を地域全体で理解し合えるよう、改めて町の位置づけを検討する。



永瀬 さん
村上 さん(サポート)

ジェンダーという難しいテーマに正面から取り組み、中学生の目線での質問内容で大変良かったと思います。



運動することの大切さを町民に伝える活動を増やして



登内 さん
田口 さん(サポート)

議員 ①大人が運動する機会が少なくなっている。まず箕輪町役場の皆さんが昼休みなどで運動をする機会を作ってはどうか。②生涯スポーツで誰でも参加しやすいラジオ体操、ボッチャなどスポーツイベントをもっと増やしてほしい。③運動の大切さをPRするリーフレットを作成したので町民に配布してほしい。(リーフレットは裏表紙P20で紹介)

町長 運動で役場職員のコミュニケーションを取ることもできるので、担当課で考えてもらいたい。「誰でも」「どんなスポーツなら」を地域の方々から提案してほしい。働き盛りの世代を中心に健康無関心層がいるので、地域や企業の力を借りてやっていきたい。作成いただいたPRリーフレットは活用を検討する。

スポーツの有効性を学び、元氣な箕輪町づくりのための運動プログラムを作り上げたことは素晴らしい。

この活動が広がることをサポートしたい。



小さい頃の「にぎやかな天竜公園」を取り戻したい

議員 「町民の思い実現隊」という活動で、アンケートを実施し133件集まった。草取り・ゴミ拾いの要望が多く、天竜公園・児童公園で実施したが対応しきれなかった。

中学生では取り扱えないものについて、①防災：危険箇所の洗い出しや救急処置の習得を目指した講習会②公園：場所・名前・遊具をまとめた地図作成③施設：公園の環境整備や設備の確認を定期的に実施。

町長 AEDについて「上伊那安心安全マップ」に表示はしているが町の地図への反映を検討する。防災講演会は実施しているが、職員が出向くなど役に立つ形を研究する。公園情報のマップは必要なので検討したい。公園の整備はやっているが追いつかないので、抜本的に方法を考えて実施する。



関 さん

箕輪学の学習で体験してきたことをもとに、疑問に感じた事等を質疑・提案できたのは、とても良かった。



中学生正副議長



北原 さん



堅山 さん

生徒会長



釜屋 さん

1年生から学習してきた箕輪学の集大成です。前向きな検討をお願いします。議会とはなかなか体験できないこと。この経験を忘れないよう今回学んだことや感じたことをこれからの人生に繋げていきます。議会での話し合いが、よりよい箕輪町につながっていることに感謝します。

白鳥 町長

町の現状を捉えた具体的な内容で、なかなか難しい質問だったが精一杯答弁させてもらいました。まちづくりに関心を深め、自分ごととして捉え、行動してくれること、そして町を好きになってくれることを望みます。

荻原 議長

この議場でいろいろなことを決めている。皆さんはあと3年で選挙権がもらえる。町を出ていく人もいと思うが、この会場の役場側でもいいし、議員側でも良いので戻ってきて、いいまちづくりをしてくれると信じている。

寺平

議会活性化委員長

第一回中学生模擬議会は1988年。その時私は中学生で傍聴席にいて、ここで質問したいと思ったことを覚えています。その13年後に議員になって実現しました。皆さんがこの場に立てるのは11年後。議場で待っています。



いつもこの議場でやっているのだと思うと特別な体験をしたのだと改めて思った。



質問席に立った時、想像以上に緊張してびっくり。でも、自分たちの伝えたいことを伝えられた。



思った以上に白鳥町長がしっかり返していてびっくりしたし、嬉しかった。箕輪学を頑張ってきた良かったなと思った。

実現が難しい提案もあったが、箕輪学で私たちが頑張ったことが、実現されて町にふれていったらとても嬉しいなと思う。



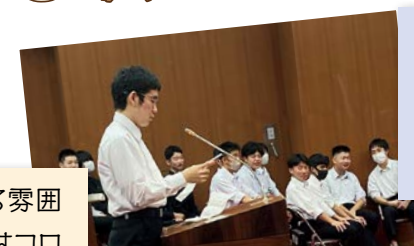
「素敵な経験ありがとうございました」



生徒たちの感想



いつも役場の皆さんが行っている雰囲気がとても感じられた。私たちはコロナ下で国会議事堂に行くことも出来なかったかったので、とてもいい経験ができました。



議会活性化委員長の議員になりたくてなった話、刺激的だった。私もやりたいことがたくさんある。高校に通う中で、いろいろ吸収しよう。

「検討していきます」という答えもあり、活動してきたことが形となって箕輪町に残るのだと考えるとなんでもかくなかったです。



これからも皆さんの声を聞かせてください。議会事務局お問い合わせフォーム▶



12月定例会で こんなことが決まりました

決定!

12月2日から17日までの会期で開催されました。
補正予算、条例改正など全15議案を審議し、原案
どおり可決しました。

**補正
予算** 野生有害鳥獣侵入
防止柵設置工事
北小河内中村地区に鹿
等の侵入防止柵を設置
390万円



**補正
予算** 結婚新生活
スタートアップ補助金
補助金申請者の増加
(上限60万円)
570万円



**賃貸借
契約** みのわ温泉施設LED照明機器
賃貸借契約
契約者 株NEYXZ (東京都)
ながた荘とながたの湯の照明
機器をLED化
契約終了後は町の財産となる
1,127万円
(月額187,880円×60ヵ月)



**人事
案件** 箕輪町教育委員会の委員の任命 藤澤 正彦 氏 (松島)

**補正
予算** 障がい・障がい児
福祉サービス給付費
障がい福祉施設・放課後等
デイサービス支援補助
1億34万2千円



**補正
予算** 箕輪町一般職員の
給与等
人事院勧告による給与改定
民間給与との格差解消と若年層に
重点をおいた引き上げ
3,475万円



**財産の
取得** 町図書館移動図書館車購入
契約者 株林田製作所(埼玉県)
納車予定: 令和8年2月
1,932万2千円



現行車輛

臨時議会(11月18日) ゼロカーボン推進公共施設整備工事に関して

**請負
契約** 議案第2号
令和5年度箕輪町地域脱炭素移行・再
エネ推進交付金事業等公共施設整備
(変更) 工事の変更請負契約について

賛否が分かれた審議 提案の趣旨 (議案第2号)	提出者	入 杉 百 合 子	小 出 嶋 文 雄	南 朋 子	平 出 広 志	小 口 智 世	中 村 政 義	中 澤 清 明	上 田 学	北 野 め ぐ み	金 澤 幸 宣	白 鳥 真 吾	中 野 友 美	岡 田 建 二 朗	寺 平 秀 行	荻 原 省 三	結 果
令和5年度地域脱炭 素移行・再エネ推進 交付金事業等公共施 設設備工事の変更請 負契約について	箕輪町	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	採 択

※討論の詳細は会議録検索システムで後日議事録を閲覧することができます。

**請負
契約** 議案第3号
令和6年度箕輪町地域脱炭素移行・再
エネ推進交付金事業等公共施設整備工
事の変更請負契約について

現契約金額 1億 560万円
変更金額増 1,837万円
変更後金額 1億2,397万円



ソーラーカーポートの変更請負
契約について(議案第2号)

カーポートと庁舎建物の離隔
距離が建築基準を満たす6m取
れないことが判明し、庁舎に防
火構造(防火シャッター・防火窓
ガラス)の設置が必要となった。

V2Xの仕様が、蓄電池一体型
への変更などにより、事業合計
では、4,180万円の減額となる
が、交付金対象外(一般財源)か
らの持ち出しは、1億4,865万円
の増額となる。
工期完了の期限は令和7年3月
31日。

審査のなかみ 委員会で審査された内容

Q 議員 A 役場担当

**総務
産業** 箕輪町一般職員の給与に関する条例及び
箕輪町一般職員の任期付き職員の採用及
び給与の特例に関する条例の一部を改正
する条例制定について

Q 例えば世帯主である一般職は、今回17,800円か
ら19,800円に増額されるが、そもそも寒冷地手
当はなぜ一般職のみなのか、会計年度任用職員
と統一すべきでは。

A 人事院勧告によるもの。

ココに
注目!

寒冷地手当ってなに?

国家・地方公務員に11月～3月の5ヵ月間、
毎月支給される手当。(諸手当26種類、うち生
活関連諸手当4種類の中のひとつ)

※対象地域:北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、
福島県、群馬県、新潟県、福井県、山梨県、長野県、
岐阜県、広島県(全域または一部地域)

気象庁が公表した「メッシュ2020」を反映し
た級地区分の見直しがあり、箕輪町は来年度、
寒冷地から除外される予定。

**総務
産業** 令和6年度一般会計補正予算(第6号)

Q 消防施設建設事業費の消火栓整備の増額(374万円)
の理由は。

A 製品単価や工事労務費増加によるもの、整備予定
数は当初より減少。

今回の改修は14ヵ所のみ。

町の消火栓の総数は684ヵ所。調査ができ
次第、順次整備改修を進めていく予定。改
修が必要な消火栓整備は早急に進めるべき。

ココに
注目!



Q 防災ハザードマップ更新の内容は。

A 外国籍の住民向けに5ヵ国語(ポルトガル語・イン
ドネシア語・中国語など)対応させた電子デー
タを、町内企業に配布する。

Q 北小河内の鳥獣被害防止柵、辰野町との協議の必
要性と、今後の計画は。

A 計画が具体的になる時点で協議の予定、来年度予
算で国庫補助を辰野町境まで申請予定。

Q クマ放獣業務委託の作業対象範囲は。

A 獣医師が麻酔を打ってから放獣まで。

Q もみじ湖まつり期間延長に伴い増加した、交通誘
導などの費用負担は。

A まつり期間中の観光客が少なかった分が費用減額
となり、補正の必要なし。

Q 都市計画基本図修正業務の内容は。

A 昨年度、航空写真撮影分の図面修正と道路台帳の
デジタル化。

**総務
産業** 令和6年度
箕輪町水道事業会計補正予算(第3号)
令和6年度
箕輪町下水道事業会計補正予算(第2号)

Q 賞与引当金繰入額の増加について内容は。

A 企業会計は発生主義、今年12月から来年3月まで
の賞与分を来年6月に支給するために確保しておく
ため。

現
地
確
認

総務
産業

12
月
11
日(水)



北小河内地区、鳥獣被害防止柵設置予定現場



役場庁舎北側駐車場ソーラーカーポート整備現場



上古田水源、21年災害復旧状況

福祉文教 箕輪町地域包括支援センターの包括的支援事業の人員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

Q これまでの基準と、具体的にどのような違いがあるのか。

A これまでは原則的な常勤職員数が決められていたが、改正後は地域包括支援センターの運営協議会が認めた場合、会計年度任用職員などの勤務日数が少ない職員がいても、常勤換算方法で満たしていれば可能ということになった。

地域包括支援センターとは

ご存知ですか？

高齢者や家族が住みなれた地域で安心して生活できるように保健師・社会福祉士など専門職員が介護・福祉に関する悩みや健康・医療・生活に関する相談などを受け付けている総合相談窓口。

町の地域包括支援センターは役場の福祉課内に設置されています。



福祉文教 令和6年度箕輪町一般会計補正予算(第6号)

Q デジタル教科書ライセンスの期間は。

A 教科書は4年に一度改訂になる。一括購入するので4年分。



Q 結婚新生活スタートアップ補助金(570万円)の、今年度の申請件数は。

A 当初予算は1件60万円で7件分の420万円であったが、既に10件以上の相談が来ている。

Q 社会福祉総合センター解体工事实施設計業務委託料増(336万8千円)について、工事は来年度の発注となるのか。

A 今回の設計業務委託料は、解体工事の設計に関するもののみであり、工事は来年度当初に発注、令和7年12月までに終わる予定。

Q 高齢者福祉施設での光熱費増(46万7千円)がLED化工事の遅れによるものとのことだが、この施設でどれくらいの遅れがあったか。



A 施設はげんきセンターとげんきセンター南部で、当初7月を見込んでいたが、11月に完成した。

Q 障がい福祉・障がい児福祉サービス給付費が1億34万2千円も増えている。その要因は。

A 就労継続支援B型事業所の新規利用者や、特に放課後等デイサービスの新規利用者が急増している。

放課後等デイサービスの背景

※障がいや発達に特性のある小中高校生が、放課後や長期休暇中に通う福祉サービス

ここ5年で、全国の事業所数は、1.5倍21,000カ所を超え、認定された障がい児は30年で2.5倍と言われる。

学童クラブなどと違い、障がい児通所で生活面の向上を目指す福祉サービスだが、テレビを見せるだけなど本来の活動をしない施設が、全国的に問題視されている。

学校でも学校外でも、個性やニーズに応じた多様な育ちや学びの保障が求められる。

ココに注目!

現地確認

福祉文教

12月11日(水)



木下保育園 地中熱暖房運用状況



みのもちゃんバス 東コース運行状況試乗

町政のここが聞きたい!

一般質問

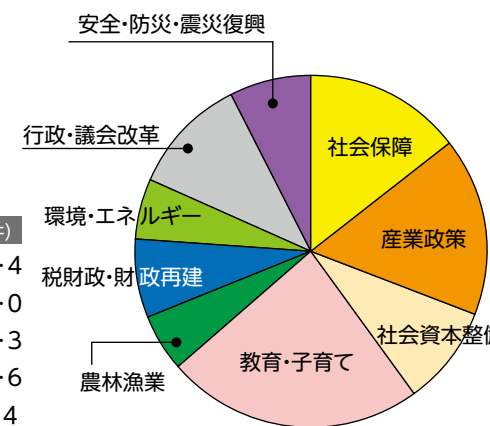
議員13人が町に質問・提案しました。

主な質問	議員	ページ
冬季の災害に備え防災訓練実施を	白鳥 真吾	10
高齢者関係予算の充実を	中澤 清明	10
まちなかタクシー、現状と今後は	寺平 秀行	11
今後の健康アカデミーはどうなっていくのか	中村 政義	11
令和7年度予算編成における重点施策は	平出 広志	12
独り暮らしの高齢者の防犯対策に支援を	入杉百合子	12
投票支援カード、記入補助具の導入は	北野めぐみ	13
殺処分ゼロをめざした地域猫活動の考えは	小口 智世	13
来年度当初予算規模110億円の妥当性根拠は	金澤 幸宣	14
農地の貸し借り、相対契約廃止の影響は	南 朋子	14
奨学金返還支援補助金の条件エリア拡大を	中野 友美	15
当町の不登校児童生徒の状況と支援の状況は	小出嶋文雄	15
物価やコメの価格高騰早急に財政支援を	岡田建二郎	16

「あなたの関心事はどれ？」

12月議会的一般質問で、議員が取り上げたテーマを、分野ごとに可視化してみました。

政策分野の内訳	質問件数(55件)
社会福祉・福祉再建	8
産業政策	9
社会資本整備	5
教育・子育て	13
農林漁業	3
税財政・財政再建	4
労働	0
環境・エネルギー	3
行政・議会改革	6
安全・防災・震災復興	4



知ってる?

みのわまちのいいところ

“冬の風物詩” 上古田スケート場

1987年から続く上古田スケート場は今年で39年目。天然氷のリンクは上伊那地域では唯一となった。

期間中は、上古田保育園と箕輪西小学校の子どもたちが毎日利用し、自転車の乗り方を覚えるかのように、スケートを体で覚えていく。一般の方にも無料で開放され、スケート靴を履くのが久しぶりでも、イスを補助具にを使って楽しむことができる。

スケート場の開場に当たっては、4名の管理人と町の職員が12月なかばから準備を始め、水の引き入れ作業や氷の状態を連日確認する。氷が順調に張り、厚みが15cm以上になれば例年1月中旬から1月末までオープンしてきた。今季は2年ぶりに、念願の開催となった。

箕輪町のいいところ、があったら教えてね。
gikai@town.minowa.lg.jp

お待ちしております!



冬季の災害に備え 防災訓練実施を

町長 必要性はその通りである

議員 これまでにも冬場に大きな災害が発生している。能登半島地震後に、冬季における避難所環境の理解を深めるために、冬季防災訓練を行っている自治体がある。実際に行うことでどんな設備が必要になるのか。何を備蓄しておく必要があるのか課題などが見えてくる。特に防寒対策について再確認をする機会にもなる。町でも冬季防災訓練の実施を。

町長 必要性についてはその通りである。厳冬期における避難所体験とか自宅での備蓄について考えるきっかけになり必要だと思う。夜間、日曜日以外の訓練もなかなかできていない中で、どんな形で実施できるのか検討をしていく。

もみじ湖祭り 出店エリアの拡大を

議員 もみじ湖祭り期間を通して出店していたのはマルシェが行われていた竹の尾広場だけである。今年は規制後に見頃になり、末広広場に駐車スペースが設けられ多くの皆さんが紅葉のトンネルなど散策をされて、広場で写真を撮影し、あずまやで休憩をしながら鑑賞をしていた。そのときに飲食の販売があればよいのではないかと現地で感じた。竹の尾広場だけではなく末広広場などでも出店を。

商工観光課長 他の場所においても出店可能かについて検討はしてきた。駐車スペースの確保やトイレの位置、景観への配慮などを踏まえると制約がある。可能性としては末広広場のあずまやと規制期間外のイベント広場が考えられる。今後、意見交換の内容も踏まえ、出店者の希望があれば前向きに検討をしていく。

その他の質問

- 小中学校における防災学習について
- 箕輪町の学校の将来を語り合う懇話会について



しろとり しんご
白鳥 真吾 議員

高齢者関係予算の充実を

町長 介護施設や人材不足には取り組む

議員 高齢化の進展に伴い医療介護の逼迫や物価高など高齢者を取り巻く環境が急速に悪化している。高齢者が安心して暮らせる町にするには①介護福祉など直接高齢者に届く予算の充実②介護や福祉の施設や人材の確保など高齢者を支える体制に向けた予算の充実が欠かせない。7年度予算編成にあたりどう取り組むか。

町長 高齢者が増えることで現状施策を維持するだけでも高齢者関係予算は自然増になることを理解いただきたい。高齢者が実感を伴う形で事業化できるかどうかの問題はあるが意を用いて行きたい。高齢者を支える側、介護事業者の人材とか施設数の不足については計画の中で取り組んでいく。

事務事業の見直しで財源確保を

議員 効果検証を行い不要不急な事業を廃止し、新しい行政需要に充てる財源創出にどう取り組む。

町長 一番の課題は補助事業をなくすことによって一定の痛みが町民に伴うのでなかなか理解いただけない。事業効果の検証を一定の指標に基づいて説明し理解いただき、一般財源の確保をと思っている。

精度の高い予算編成、予算執行を

議員 近年、設計価格と落札価格に倍近い差がでたり、工事に着手してから大きな設計変更が生じ多額の変更契約が発生している。担当課での設計積算精度を向上させるとともに財政サイドでしっかりチェックできるようにすべきと考えるが。

町長 土木事業等では正確な積算が出来ている。大型の建築工事やゼロカーボン事業ではCM方式などで設計積算を委託しているが結果として違った入札結果が出ている。設計、発注、施工の各段階でより正確な積算を期していきたい。予算段階での査定については十分でないと考えられるのでもう少し精度の高いものにするよう財政と相談していく。



なかざわ きよあき
中澤 清明 議員

まちなかタクシー、 現状と今後は

町長 今後1年程度の利用状況で検証

議員 まちなかタクシーは、高齢者などの生活利便性の向上を目的に、町内に住む65歳以上の住民が自宅から目的地まで定額で移動できるタクシーである。この制度の普及と財政負担のバランスが課題だ。利用状況は。

くらしの安全安心課長 まちなかタクシーの利用実績について、令和5年10月から1年間の利用状況について登録者数は1,097人、そのうち533人(48.6%)が利用した。1日あたりの利用回数は42.4回で、最大7台のタクシーが運行している。今年4月から利用回数は月20回までに制限されている。利用目的は大型スーパー、医療機関、ながたの湯が主である。利用率は昨年11月の1人当たり3.38回に対し、今年11月は4.14回と増加している。今後も注視する必要がある。

議員 制度普及とともに利用回数が増え、財政負担も増加すると思われる。今後の見通しは。

町長 まちなかタクシーは地域公共交通として重要であるが、財政負担も考慮しなければならない。みのちゃんバスとの併用が検討されたが、バスの利用減少はあまり見られなかった。通常のタクシー利用者がまちなかタクシーに移行したと考えられる。今後、みのちゃんバスの利用状況を見ながらバスの運行削減が必要か検討する。もう1年程度現状把握を続ける。

議員 運転免許の返納について、まちなかタクシーでは免許返納者に割引制度があるが、実態は。

町長 免許返納者には平成30年度から自主返納支援交付金制度を実施し、年間80人から100人が免許を返納している。まちなかタクシーの登録も進んでおり、制度の役割を果たしていると考えられる。

議員 町民の足を確保するための交通行政の取組は。

町長 まちなかタクシーの課題については検討が必要であり、利用者の声に応えるためにタクシー業界と対応を進める。財政面での影響も考慮し、公共交通の広域化も県で検討する。伊那市街地への公共交通問題も引き続き検討している。



てらだい しゅうこう
寺平 秀行 議員

今後の健康アカデミーは どうなっていくのか

町長 4種類のコース設定を考えている

議員 19期生を迎え実施中の健康アカデミーは、信州大学教育学部医学部大学院寺沢教授の指導のもと行われてきたが、教授の退職に伴い今後の健康アカデミーはどうなっていくのか。

町長 この事業は信州大学の寺沢教授が提唱される運動とコミュニケーション理論を取り入れ参加者が仲間とコミュニケーションを大切にしながら健康づくりを行うもので、以前には厚生労働省から表彰もつけた町を代表する事業、個々の健康状態の改善等、参加者の満足度としても大変成果を上げている事業ではあるが、近年の課題として参加者の減少が課題、1年間継続して教室に参加することが難しくなっている状況。寺沢教授の退官を基に健康アカデミーを今後どうするのか、検討を進め令和7年度から、「みのわ健康アカデミープラス」という名称で、より幅広い年齢層へ様々なライフスタイルや健康ニーズに合わせた4種類のコース設定を考えている。1つは、健康アカデミーコースを現状の4班体制を2班体制とし、受講者20名で1年間コース、現状とほぼ同じプログラムで実施。2つ目はウォーキングコース、これは6ヶ月想定で、ウォーキングに特化したプログラムで、アカデミー卒業生に対する健康づくりもこの中にいれていきたい。3つ目は、働き盛りの皆さんに対する短期集中コース、夜間実施の3ヶ月コース。4つ目は体メンテナンスコース、誰でもできるストレッチ等で体づくりをする3ヶ月の短期コース。



なかむら まさよし
中村 政義 議員



その他の質問

- 防犯防災対策について
- 小中学校の現況について
- 沢駅周辺の整備について

令和7年度予算編成における重点施策は

町長 少子化・人口減対策を積極的に推進

議員 令和7年度予算編成における重点施策は。

町長 少子化対策が重要ポイント、この町に生まれ、町民として選択してくれた若者に恩返しの施策を考える。

農山村集落の持続可能性について、健康寿命の延伸や医療、介護の充実について考えたい。

議員 DX事業では、オンライン申請など町民の利便性の向上につながっていないが。

町長 事務フローの変革部分で止まっている。新年度予算で各課DXの事務手続きを提案するよう要請した。今後DX事業を着実に進め、町民に見せていく。

議員 物価高騰に伴い、きめ細やかな生活者支援を。

町長 物価高騰に伴い非常に苦勞されている世帯があることを承知している。事業者・農家等の分野についても国の交付金のほか、町独自でやる部分も含めて検討する。

中学校部活の地域移行のスケジュールは

教育長 協議会を本年度中に立上げ、来年度に移行コーディネーターを配置し、8年度の移行を準備する。

議員 「総合型地域スポーツクラブ」を設立し、部活地域移行の受け皿とすべき。

町長 町に体育協会や地域スポーツクラブがないため、団体間の連携ができていない点が課題である。実施にはキーパーソンがまず必要である。この機会に地域スポーツクラブそのものでなくても横の連携がとれる組織づくりができないか検討したい。

教育長 地域スポーツクラブを進めざるを得ない状況にある、キーパーソンを作って検討していきたい。



その他の質問

- デジタル教科書の弊害について
- こども計画、学童・青年期の取組の充実について



ひらい ひろし
平出 広志 議員

独り暮らしの高齢者の防犯対策に支援を

町長 かなり高額なので検討したい

議員 独り暮らしの高齢者は増え続け、見守りや介護のニーズが高まる一方、高齢者を狙った事件も相次いでいる。町では、箕輪町安全安心なまちづくり条例の制定に向けて取り組んでいるが、独り暮らしの高齢者の防犯対策として、住宅環境を整えるための支援を検討する考えは。

町長 防犯カメラ、防犯砂利、防犯フィルムなどあるが、かなり高額であり、またこれまで例がないので、研究して、協議会の中で検討していきたいと思う。

これからの選挙の方向は

議員 SNSを使った選挙について、町選挙管理委員会はどうに捉えているか。

選挙管理委員長 SNSの活用により、時間や場所に制限されることなく情報を得ることができ、政治や選挙に関心がなかった有権者の皆さんの興味を持つきっかけとなるのが期待される一方で、誹謗中傷、虚偽の情報発信といった課題があり、正しい利用の中で有効に活用していただきたいと考えている。

議員 2年後に予定されている町長選挙や町議会議員選挙に向けて、もっと積極的に選管として指導をすべきではないか。

選挙管理委員長 公平、公正な選挙が執行できるよう啓発活動や学校における選挙の出前講座などの取り組みを行い、SNSについては他の自治体の取り組みなどを見ながら有効な方法を考えてまいりたいと思っている。

夜間防災訓練の実施の予定は

議員 町総合防災訓練で「夜間防災訓練」を実施する予定はあるか。

町長 夜間訓練は改めて検討するまでもなく必要だ。本年度職員の非常参集訓練は予定している。町民の夜間訓練は、一斉に実施というのは難しい面があるので、区や常会レベルでの実施になると思う。



いりすぎ ゆりこ
入杉 百合子 議員

投票支援カード、記入補助具の導入は

選挙管理委員長

今後の参考とさせていただきたい

議員 選挙の投票において、さまざまな不自由さを抱える方々をはじめ、町民の皆様が安心して投票できるようにするためにも、投票支援カードや記入補助具などの導入についての考えは。

選挙管理委員長 選挙の際に障がいのある方が円滑に投票することができる支援の一つとして、今後の参考とさせていただきたいと思う。

車椅子生活者への支援は

議員 障がいを持っている皆様安心して生活を送ることができるための支援の検討を。

町長 本当に安全な生活をするための機器の助成は必要だなと感じている。現在のところは、2つの制度がある。補助事業対象については、事前にご相談いただくようお願いしたい。

5歳児検診の必要性和課題は

議員 小学校入学前の5歳頃は、言葉の理解度や社会性が発達することから、こだわりが強い、協調性が低いといった感情や行動の傾向を見ることで発達障がいを発見しやすいといわれている。そこで、町として5歳児健診の必要性は。

町長 5歳児より早い段階で発達障がい等困難な子どもたちに気付く必要がある。国で新たに5歳児健診に係る支援事業が創設され、対象となる幼児全てに5歳児健診を実施する体制構築が求められている。5歳児は確かに社会性が高まるということがあるので、発達障がい認知される時期であることは確かだと思う。

議員 5歳児健診を導入するにあたって、人員などの検診環境に関する課題は。

町長 例えば、体制整備の問題とか、効率的な実施方法ができるかどうかという問題や、診療医師の確保ができるかどうか上伊那全体の問題である。しかし、国の動向もある。今後検討せざるを得ない状況だ。



きたの めぐみ
北野 めぐみ 議員

殺処分ゼロをめざした地域猫活動の考えは

町長 例を参考にできることを研究する

議員 野良猫などを対象に、長野県動物愛護会から不妊手術補助が出ているが、来年度なくなる予定。町から補助金を出す考えは。

町長 上伊那管内の他の対応も参考に検討する。

議員 殺処分ゼロや地域づくりのため、野良猫を地域で見守る「地域猫活動」をしては。

町長 地域の合意が必要。例を参考に研究したい。



おぐち ちせ
小口 智世 議員



農地を農地として守る取り組みについて

議員 農業の担い手不足は切実。有機農法や自然栽培専用の町民菜園を作っては。

町長 場所の選定ができないか研究する。

障害者雇用について

議員 町職員と町内企業の、障害者雇用の状況は。

町長 国や地方公共団体の法定雇用率は2.8%のところ、町職員が2.52%、教育委員会は2.7%。町内企業についてはこれまで調査していなかった。

議員 障害や不利益は、社会の障壁によって生み出されているという「社会モデル」の視点が大切。率先して障害者雇用を推進し、人口も増えている自治体がある。町でできることは。

町長 福祉就労から一般就労に移るための就労支援所が少ないのが課題。現在どれ位の方が福祉就労や一般就労をしているのか等、現況の把握から勉強したい。

学校教育について

議員 県の教育委員会で進めるTOCO-TON（トコトン）に採用された内容と新年度の取り組みは。

教育長 TOCO-TONは、「やまほいく」を小学校低学年に、「箕輪学」を小学校高学年に取り入れる。新年度の取り組みは、各学校に「ふるさとルーム」を作り、地域の方との触れ合いの場とする。

来年度当初予算規模 110 億円の妥当性根拠は

町長 8年度まで大規模事業の予定ない

議員 来年度当初予算編成方針説明会で町長は「本来規模の110億円程度に抑えたい」と示した。その理由と妥当性根拠は何か。



かなざわ ゆきのぶ
金澤 幸宣 議員

町長 木下保育園ゼロカーボン、町民体育館、武道館の10億円超の大規模事業は今後実施がない。それを抜けば大体100億円前後。それを基に110億台としたが、課題は物価高騰があり労務単価引き上げによる経常的経費増加、国の制度改正による児童手当等事業規模の増加等で予算規模は1～2割程度増加せざるを得ない。110億円台を維持できるか非常に厳しい状況。

議員 DX推進による業務の最適化、町民の利便性向上施策は予算編成にどう反映させるか。

町長 全部局がどのレベルに有るかが大事。業務効率化では財務伝票の電子決済化が実は既に始まっている。大きな実務的課題。決済事務の効率化が推進される。また、生成AI導入による業務効率化も図りたい。一方、町民の利便性は住民窓口でのキャッシュレス端末を稼働して年度内に自動釣銭機導入、オンラインでの電子決裁機能の追加も考えている。また、マイナンバーカード関連の各種申請書類を「書かない窓口」として実施、デジタル郵便サービス、スマートポスの試行運用による郵送料の削減も進めたい。

議員 重点施策を確実に実施するための機構改革はどう進めるか。

町長 現在、町の経営計画と人材育成方針の見直しをしている。予算状況を見ながら1・2年のスパンでDXが進んだ場合のバックヤードになる組織、機の配置、管理体制など大幅に変わる可能性があるので現時点ではあまり動かしにくい考え。

その他の質問

- 「ゼロカーボンシティ宣言」施行後、町の自己評価は
- 木下保育園の地中熱利用設備設置、費用対効果は
- 最近感じた懸念事項について、4項目

農地の貸し借り、 相対契約廃止の影響は

町長 効率よく進むよう働きかける

議員 本年度末で農地の利用権設定（相対契約）が廃止になるが、周知不足を感じる。地域計画によって、集約化・効率化が優先されるあまり、小規模や兼業農家など多様性ある農の排除が案じられる。また、隣地が顔の見えない大手法人の手に渡れば、様々な心配がある。不測の事態が起こったとき、町の農地を守る策、町民に寄り添った対応、町独自の中間管理の仕組みづくりをしてほしい。



みなみ ともこ
南 朋子 議員

町長 中間管理機構を通すことによって、手続きに時間がかかることが予想される。効率よく進むよう働きかける。周知については、相談し対応していく。

みどりの戦略課長 中間管理機構と同じ方向で、顔の見える貸し借り、スムーズなやり取りを心掛ける。

町民体育館と、 長期的な視点でのまちづくり

議員 エレベーター設置、再検討の余地は。フェンスの観覧席が1階アリーナだが、見づらくないのか。

文化スポーツ課長 構造上の制約があり、設置がかなわなかった。設計は動線を考慮した。強化ガラスのブースから、安全にアリーナを見渡せる。

議員 体育館で行われるのは、フェンスに限らない、避難所としてもエレベーターは必要。駐車場も入り組んでいて危険。みのわBASEも同様に、通りから見えない立地にある。新設と同規模以上の予算を使って、長寿命化以外の選択はなかったのか。

町長 町独自で建物の新設は必要ない。やるなら広域で。

議員 体育館やホールなどは人を呼ぶ。施設は「稼ぐインフラ」。未来からの視点をもって。

その他の質問

- 八乙女水路橋とふるさと納税の活用
- 防犯灯・街路灯の点検整備を

奨学金返還支援補助金の 条件エリア拡大を

町長 対象エリア拡大を研究する

議員 若者のUIターン促進等を目的として創設した補助金「箕輪町UIターン応援奨学金返還支援補助金」は、年間15万3,600円を上限として補助するが、対象条件に上伊那区域内の企業へ就業または起業とある。町内へ住み、諏訪や松本エリアに就職し通勤している若者へも対象を拡げてはどうか。



なかの ともみ
中野 友美 議員

町長 上伊那地域若者人材確保連携協議会を組織して、上伊那一体で若者の就業促進に努めた制度であり維持したい。

しかし、箕輪町に居住をするということが趣旨とすれば、勤務地を問題にすべきか。対象エリア拡大については研究する。

議員 その他「補助期間延長」や「特定人材就労奨励金（福祉士、看護師、保育士等）」で就業する場合の加算条件に、“女性であること”とある。職種により長くジェンダーバイアスがあったものの、ジェンダー平等の視点で性別は関係なくなってきたことと、地域にとって性別問わず必要な人材である。女性加算という条件を撤廃し、その財源を奨学金返還補助の拡大へあてては。

みのわの魅力発信室長 各施設で人材を確保するのが難しい現状がある。加算については条件を見直すこととする。



その他の質問

- 町内事業経営支援および連携について
- こども計画策定について
- 男女共同参画事業の方向性について など

当町の不登校児童生徒の 状況と支援の状況は

教育長 小中学生の不登校は増加状況にある

教育長 今年度から多様な学びコーディネーターを町教委に配置し、各小学校を回って、保護者や子どもから話を聞いたり、先生方と打ち合わせたり、関係機関とつないで、コーディネーターとしての役割と相談者の役割を担っていてかなり効果があると実感している。



こいでじま ふみお
小出嶋 文雄 議員

町の基本的考え方は

議員 不登校児童生徒に対する基本的考え方は。
教育長 最終的には学校に戻ってほしいという気持ちで取り組んではいるが、それぞれの子どもの状況に応じた対応ができることを基本姿勢としている。教育委員で視察した川崎市のゆうゆう広場、子ども夢パーク、大和市の引地台中学校の学びの多様な学校分室ではそれぞれ子どもたちが今やりたいことを通じて、その子の力をつけていくという基本スタンスが見え、それを運営している人の魅力と不登校の子どもの立場に立った施設運営に勉強させられた。教育委員会としてやること、こども未来課、こども家庭センターと連携してやること、民間の居場所やフリースクールの皆さんと連携してやることを考えていきたい。また、食を通じた対応にも感じさせられた。

これからの方向は

議員 家庭にも学校にも居場所のないと考えている子どもの居場所のこれからの方向は。

教育長 子どもを中心に考えたとき、どの部局がどのように関わればいいのかということが大切であるので、その子どもが本当に思っていることを引き出せること、それを表現できるような方策を探りながら情報共有し取り組んでいく。

その他の質問

- 森林ビジョンのアクションプランと森との関わり方について

物価やコメの価格高騰 早急に財政支援を

町長 交付金も含めできる限り支援する

議員 物価高騰は高止まりし、今年度はコメの価格が倍化するなど、消費者も事業者も大変厳しい実情となっている。①保育園や学校の給食費について、保護者の負担を極力軽減するための財政措置を。②福祉や医療分野の光熱費負担が激増している。冬季の暖房は半年間連続して稼働する。光熱費への財政支援を。③政府の物価高騰対策に町として上乗せするなど、生活を支える施策の検討を。



おかだ けんじろう 議員
岡田 建二郎 議員



暖房費の負担が
重い福祉施設

町長 ①来年度は物価高騰も含めた給食費を再算定し、保護者の負担ができる限り軽減できるよう検討したい。②福祉系事業所の経営状況は大変厳しい。国の動向も注視したうえで、医療・介護・福祉などへの支援は必要だと考えている。③政府の支援策を精査し、地方交付税を財源に必要な施策を講じたい。

ゼロカーボン事業の数値化と 電力自給策の新たな展開を

議員 ゼロカーボン事業は令和9年度まで施設整備が続く。①事業化によって、これまで依存していた外部電力をどれだけ自給できるのか。また投資した費用の回収の用途は。②木質資源を利用した事業の成果が乏しい。薪やチップ、ペレットを活用した事業の展開を。③下水処理施設「箕輪浄水苑」の電気消費は町の消費量の20%。初期投資ゼロの電気自給策も検討し、早急な施策の検討を。

町長 ①施設整備が完了しても、自給率は町公共施設全体の40%に留まる。投資額については24年間で回収できると試算している。②初期のペレットストーブには課題が多かった。改良が進んでいるので、今後は公共施設にも導入していきたい。③浄水苑隣の町有地で発電できれば浄水苑の電力は十分自給できる。企業会計という制約もあるが、導入の可能性を追求したい。

議会 傍聴 より

12月定例会では、町役場職員研修の一環として、議会を傍聴した新規採用職員5人の感想を紹介します。
共により町を創っていきましょう。

議 会を目の前で見て、大変良い経験になった。町職員と議員のどちらも町の未来を考え、質問や意見を出し合い深掘りしていくことで、方向性が見えることを実感。町を変えていく熱意にも触れることができ、より町民の声に耳を傾け、どう行動すべきなのか広い視野と使命感を常に持ちたいと感じた。(住民税務課 田中)

実 際に傍聴するのは初めてで、とても新鮮だった。本議会から始まり、各委員会へ分化した審査といった流れで、すべての議員が同じ議題を扱っているわけではないと知った。想像以上に議会の進行は速く感じた。議会に出席するには日頃から行政について関心をよくもっておく必要があるのだと強く感じた。(住民税務課 井手)

自 分の携わる業務で精一杯であったこともあり、議会は所属課に関することばかりに目を向けていた。町政に限らず、国の動きや町民からの声を把握する貴重な場であると感じた。議会に対し感度を高く、様々な情報に意識を向け、住民の皆さんの声に応えたいと思った。(健康推進課 柴)

こ の場で町をよりよくするために話し合いがされていて、町民の生活を支えているのだと実感した。自分自身も町職員として町民に納得してもらえる事業の展開をしていきたい。(健康推進課 伊藤)

町 の事業や予算など厳格な審査が行われていた。傍聴席で参加してみると緊張感があり、速いテンポで議会が行われていた。所属する水道課の議案は水道事業単体で議論があり、自分の業務内容が町の事業に関わっていることを改めて認識したよい研修となった。(水道課 宮澤)



議会活動日誌

活動の一部を紹介します

10月	3日	議会広報特別委員会
	5日	東京賞輪会総会
	7日	議会広報特別委員会
	8日	町農業振興地域整備促進協議会
	10日	議会広報特別委員会
	12日	第16回全国カデ・エペフェンシング選手権大会開会式
	15日	議会委員長会
	16日	北海道定奇町行政視察受け入れ
	17日	下水道審議会
	18日	町村議会議長会定期総会
11月	21日	上伊那市町村議会議員研修会
	23日	議会活動活性化委員会
	23日～24日	第66回全国社会教育研究大会茨城大会
	24日	令和6年度 高大連携事業公開講座
	28日～30日	総務産業常任委員会行政視察 P18
	28日	上伊那広域水道用水企業団議定会定例会
	29日	伊那中央衛生センター起工式 伊那中央行政組合監査
	31日	博物館協議会
	31日～1日	市町村議会議員特別セミナー
	1日	こころのサポーター養成研修
12月	2日	松本山雅ホームタウンデー賞輪の日
	3日	町功労者表彰式
	5日	議会基本条例に関する学習会 議員定例協議会 中学生模擬議会事前指導 広域連合議会運営委員会 P19
	6日～7日	福祉文教常任委員会行政視察
	12日	国保運営協議会研修 第19回長野県地方自治政策課題研修会
	13日～14日	全国町村議会議長会全国大会 社協中間監査
	15日	中学生模擬議会
	18日	議会運営委員会 臨時議会 議員定例協議会 定例会議会運営委員会
	19日	伊北議員研修会(南箕輪村)
	21日	下水道審議会 上伊那広域連合定例会
12月	26日	議会広報特別委員会
	28日	社協理事会 伊那中央行政組合監査
	30日	箕輪町社会福祉大会
	2日	議会運営委員会 12月定例会初日
	3日	箕輪町観光パンフレット制作委員会
	9日～10日	12月定例会一般質問
	11日～13日	12月定例会委員会審査
	13日	議会活動活性化委員会
	16日	年末交通安全運動人波作戦
	17日	12月定例会最終日
12月	18日	社協評議員会
	19日	議会広報特別委員会
	23日	福祉文教常任委員会学習会
	24日	議会広報特別委員会
	24日	伊那中央行政組合12月定例会
	26日	伊那中央行政組合監査
12月	27日	議会広報特別委員会

上伊那市町村議会議員研修会 (宮田村)

研修① 兎束 俊之 氏
研修② 社会福祉法人 日本聴導犬協会
テーマ 身体障がい者の心と生活を
支える聴導犬・介助犬

現状と課題を実際の聴導犬・介助犬の
実演で学んだ。

参加議員 荻原、入杉、小出嶋、南、平出
小口、中村、中澤、上田、北野
金澤、白鳥、中野、寺平



10/21(月)

市町村議会議員特別セミナー
グループ研修 (千葉県)

自治体が直面している重要課題の現状・課題・解
決策について幅広く学んだ。

- 1.多様な人材の地方議会への参画促進
- 2.縮退の時代に生き残るための新しいまちづくり実践論
- 3.ヒト・モノ・カネを繋げるローカルハブ構想(十勝バスの挑戦)
- 4.ジェンダーギャップの解消(誰もが住みやすい地域へ)

参加議員 小出嶋、平出、中野

10/31(木)～11/1(金)



伊北議員研修会 (南箕輪村)

講演 大芝高原の森について
講師 杉本健輔さん

(森林総合管理士 森林環境技術士)
伊那谷の森が転換期にあることや、
どんな森にしたいかで手入れも変わ
ることなど、講演とフィールドワーク
で学んだ。

参加議員 全議員

11/19(火)



箕輪町社会福祉協議会への委託事業学習会(役場講堂)

講師 志賀健一さん
小池福祉課長
福祉事業の委託先で
ある、社会福祉協議
会の業務について学
んだ。

参加議員 中村、小口、
小出嶋、北野、白鳥、南、
平出、中野、岡田



12/23(月)

福祉
文教

総務産業常任委員会

日時 10月28日(月)～10月30日(水)
委員 南、平出、中澤、中野、岡田、寺平
視察地 岩手県(滝沢市、紫波町、盛岡市)



行政視察



福祉文教常任委員会

日時 11月6日(水)～11月7日(木)
委員 小出嶋、入杉、小口、中村、北野、上田、白鳥、荻原議長
視察地 神奈川県(大和市、川崎市)

視察したどの自治体でも、在りたい未来像が明確にあり、従来の自治体の体制やルールを変えて進んでいた。まちづくりは、基本となる大きなビジョンがあり、資金・資源・仕事地域内で循環することで、行政が本来担うべき課題に傾注できる。そのために公民連携の可能性を探る視察だった。

紫波町

オガール企画合同会社

「循環型まちづくりについて」(方言おがる:成長・駅)

100年後の後世に残す町の姿(FutureDesign)を、町の施策として明確に実践している事例。

年間100万人が訪れるという国の補助金に頼らない公民連携でつくられたまち。資金も資源も仕事も地域内で循環させることに拘っている。役場庁舎から周辺施設、住宅まで地域の業者が施工管理し、そのエネルギー源も森林資源を活用して自給している。保育園や学校、庁舎まで公共施設の多くが木造化されていた。一方、中心部と周辺部の格差は避け難く、小学校は統廃合が進んでいた。バランスのとれた地域の発展という課題は残る。



木製チップをエネルギー化して施設や住宅へ供給するステーション



生活に必要なテナントが並ぶ



図書館も民営で、BGMも流れている



住民が集える広場をセンターに、役場、宿泊施設、保育園の隣には小児科などが並ぶ。

滝沢市

若い世代の行政参加の取り組みと評価

岩手県立大学・私立盛岡大学が立地し「若者の望む生き方を実現できるまち」を目指す。地域に居住する学生を一時的な住人としてではなく市民として接している。取り組みには「学生アルバイト事業」や「1dayインターンシップ事業」などで、働く場やまちづくりに参画する機会を与えている。



盛岡市

木伏緑地での公民連携(PFI)による公園管理について

盛岡駅から徒歩5分に立地する木伏緑地は、民間による公園の管理とともに、市に公園使用料が納入される。盛岡中央公園は全体管理と保育園の整備・運営という条件を公民連携で達成している。

行政が抱えている課題の解決手段として、PFIを活用している。事業者には過度な干渉をせず、テナントに空きがあっても全国チェーン店の出店は行わないなど、事業全体のコンセプトを行政と事業者が共有し、互いに知恵と工夫を生み出している姿が見られた。



木伏公園の夜

滝沢市

交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」



紫波町

NFTを活用したデジタル戦略について

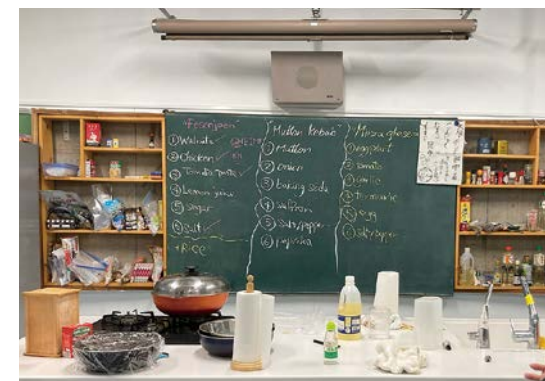
視察した所はいずれも、それまで当たり前とされていたやり方から一歩踏み出すことで、「その人らしく学び、暮らし、遊ぶ」を実現していた。前例に縛られず、一人ひとりの「どうありたいか」を大切にすることを、町でも取り入れられるといいと感じた。

大和市

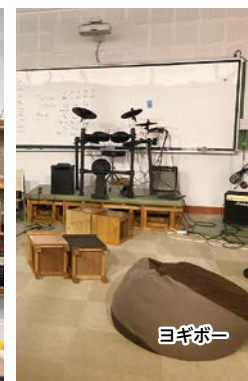
大和市立引地台中学校分教室

学びの多様化学校(不登校特例校)である引地台中学校分教室は、大和市立柳橋小学校の敷地内にある。大和市長の一声により、準備期間1年足らずで令和4年度開室。学校への復帰は目標とされていない。

分教室内の所々にヨギボーが置いてあり、どこで過ごしてもいい。調理に熱心な生徒が、黒板の両側にDIYで調味料を置く棚を作ったり、音楽好きの生徒が、いつでも叩けるようにドラムセットを置いたり、思い思いに関心のある活動をしている。「学校らしくない学校づくりを心掛けていて、〃学校の当たり前〃や〃固定観念〃を取り払っている。本校もそうになっていって、いつかここがなくなるといい。」という先生の言葉が印象に残った。



引地台中学校分教室



ヨギボー

川崎市

川崎市子ども夢パーク

「子どもの権利に関する条例」が、全国に先駆けて2000年に制定された川崎市。子ども夢パークは、条例を具現化する場として2003年に作られた公設民営の施設。子ども委員34人、大人委員16人からなる運営準備会で、子どもたちの意見を聴いて作られた。

屋外のプレーパークには泥んこになれるウォータースライダーなどがあり、火やのこぎりを使って、自分の責任で自由に遊ぶことができる。2階建ての建物には、音楽スタジオ、子ども会議事務室や、学校外での育ちや学びを保障する場として「フリースペースえん」がある。子どもたちの主体性がとことん大切にされていて、まさに「こどもまん中」を具現化した場だと感じた。



子ども夢パーク



川崎市

川崎市複合福祉センター「ふくふく」



自由に行き来できる保育園と高齢者施設

民間事業者が建物を建て、川崎市と社会福祉法人三篠会がフロアや部屋を買い取る形で2021年3月に開設。設備の管理はそれぞれで行い、共有部分は市と法人とで管理組合を作って管理している。1階から8階まで、特別養護老人ホーム、障害者支援施設、事業所内保育園、ひきこもり地域支援センターなどが入った複合福祉センター。

三篠会が運営している部分「川崎ラシクル」では、高齢者通所施設の部屋の隣に事業所内保育園があり、多世代の触れ合いができるところが魅力的。障害者施設フロアは、身体・知的・精神障害の方がそれぞれユニットで暮らしている。市と法人が柔軟な棲み分けと連携をすることで、地域と一体になった福祉を実現している。

仕掛け人は町民 みんなのパワーが町を変える

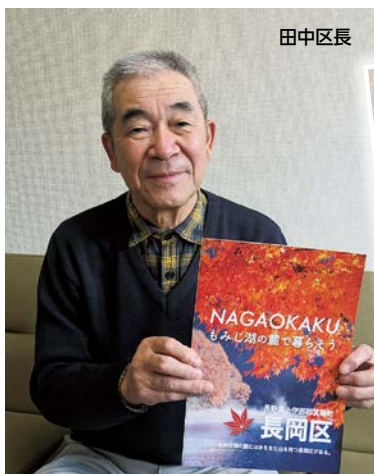
自治チカラ Vol.4

長岡区 移住・定住を町まかせにしない

「長岡区を知ってもらうには自分たちが動き出さないといけない。」と区長の田中浩さんは話をしてくれました。

区長は就任直後から、区の人口を増やすにはまず、長岡区を知ってもらう必要がある。アピールをするためにはリーフレットを作成し、全国から多くの方が来場する「もみじ湖紅葉祭り」で配布をすることが絶好のチャンスだと考え、活動を始めました。

リーフレットには区を紹介するマップだけではなく、代々長岡に住んでいる方と移住をされた方へのインタビューが並んで掲載されるなど工夫しました。配布は区の役員だけではなくボランティアを募集し、区内外から集まりました。



田中区長

11月1日から5日間、シャトルバス発着場の近くに長岡区の TENT を張り、リーフレットを配布しました。「移住を考えている方と出会えた。」と笑顔で話す姿もありました。「今回の活動をしてよかった。」と参加された皆さんからも感想が寄せられています。配布をした期間には、長岡区ホームページへのアクセス数も増え、移住への期待も高まっています。

区長は、今回の活動だけで終わりにしてはいけません。継続していくことが必要であると力強く話をしてくれました。

“活気ある長岡区にしたい”
その思いを心から応援します。



区で企画・製作したリーフレット

15歳の目

中学生模擬議会

模擬議会で提案のあった「運動することの大切さ」をPRするリーフレットを紹介します。



中学生模擬議会で紹介したリーフレット



編集後記

今回は中学生模擬議会を特集しました。真剣なまなざしで質問する姿に自分が15歳の時に町のことを考えていたかと思い返しました。当時の「ふきはら祭」のパンフレットには「未来の箕輪町～魅力ある町づくりのために～」という討論会が行われていました。記録には「都会化するよりも農家を大切に緑の箕輪町にしよう」などの声が。あのとき思い描いた箕輪町になっているのか。15歳の自分に戻って見つめ直してみたいと思いました。

今年は町制70周年、箕輪町について振り返る機会が多くあると思います。皆さんも中学生時代に、話をしてみませんか。

(白鳥 真吾)

3月定例会の予定

2月28日(金)	開会
3月10日(月)	一般質問
11日(火)	一般質問
12日(水)～14日(金)	委員会審査
17日(月)	閉会

モニター募集

来年度の「議会だより」モニターを募集します。詳細は後日、町のホームページ等でお知らせします。

議会だよりに関するご意見がありましたらお寄せください。

議事事務局
電話 0265-79-3187(直)
お問い合わせフォームはコチラ▶



[議会広報特別委員会]

中野 友美 (委員長) 白鳥 真吾 (副委員長)
南 朋子 平出 広志 小口 智世